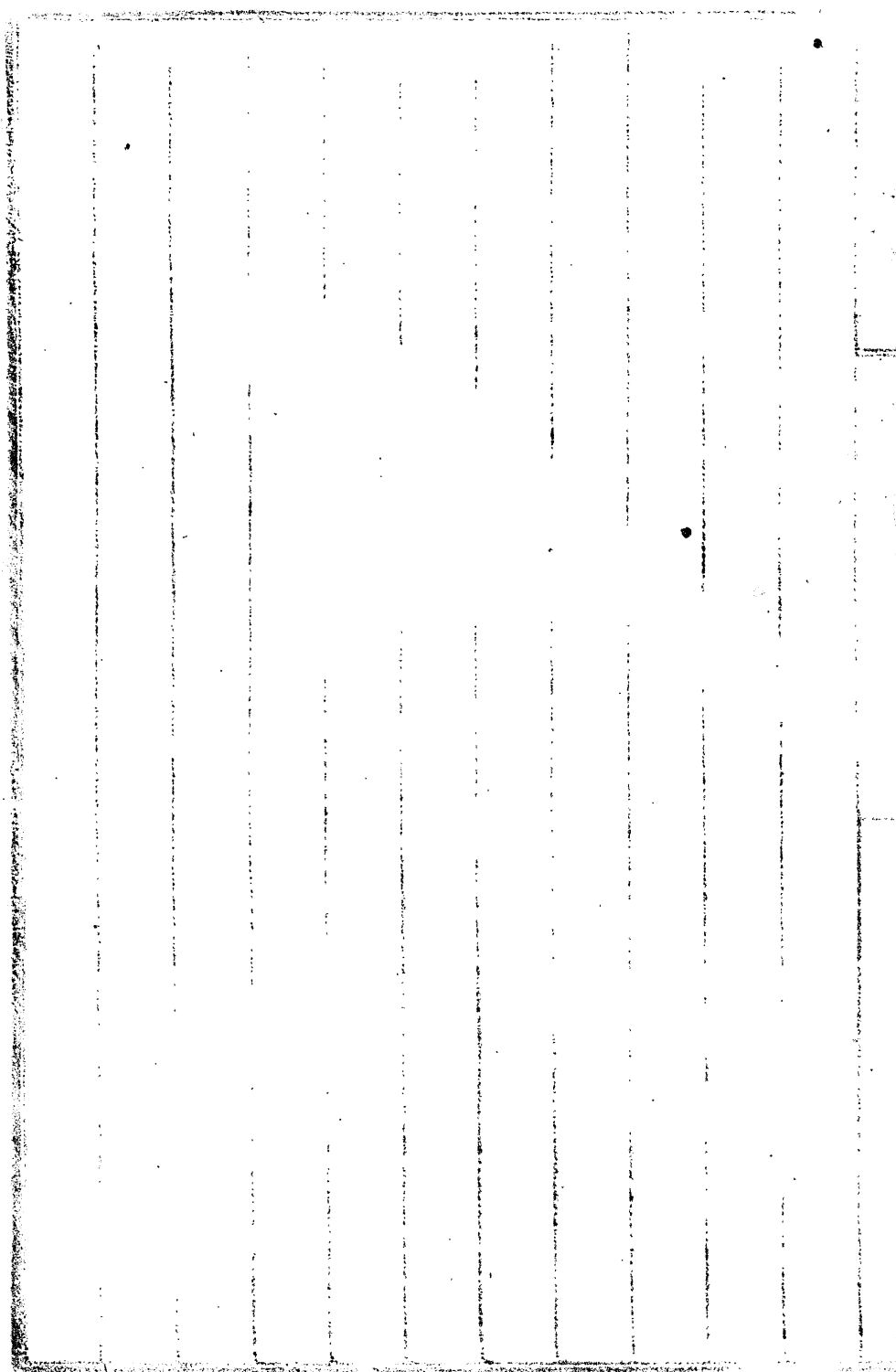


明治三十年十月廿一日、於戰闘詳報発売号

臨時攻城廠

0437



0438

第一号戦國洋装子冊之通
及此達也

明治七年三月七日

陸軍少将和田由三

臨時工廠印

第三号令及伯爵大山巖殿

0439

臨時攻城廠戰闘詳報第百九號

廿日午後一時余ハ本隊ニ先ケ土城子ニ着シ直ニ今所南方ノ
高地ニ至リ敵壘ノ動靜及ビ彼我陣地一般ヲ偵察シ續テ
軍司令官ヨリ左ノ訓令ヲ受ク

一 敵ハ堡壘ニ拠ラ我ヲ待ツモノ、加シ又敵ノ兵力ニ就テ其後
新ナル情報ヲ得ズ

二 軍ハ明日敵ヲ攻撃セントス

三 搜索騎兵ハ明廿日未明ニ蟠龍山ノ西方ニ位置シ軍ノ左
翼ヲ警戒スベシ

搜索騎兵ハ其一部ヲ双台溝ヲ旅順ニ通ブル街道ニ出シ
混成旅團ト左翼縱隊ト連絡ヲ保ケ且其前方ヲ

搜索スベシ

四 右翼縦隊中第一師團ハ土城子ヲ旅順ニ通スル本道、
西方ニ展開ス其攻撃目標ハ松樹山、砲台トス

但シ先ツ椅子山ニル旅順西方、堡壘團ヲ占領スルヲ力ムベシ

五 右翼縦隊中混成旅團ハ土城子ヲ旅順ニ通スル本道
ノ東方ニ展開ス其攻撃目標ハ二竜山、砲台トス第一師
團旅順四方、堡壘團ヲ攻撃スル間其團ハ持續戦
ヲ為スベシ

六 左翼縦隊ハ旅順、東北方ニ展開シ敵ヲ牽制ス

七 攻城隊長ニ廿日、未明ヨリ放火ヲ開始シ得ル如ク水師
營、北方ニ陣地ヲ占領ス

陣地及攻撃目標ニ就テ軍砲兵部長ヨリ更ニ指示ス
ハ第一師團ノ歩兵一大隊及搜索隊ノ騎兵一小隊ハ軍ノ
総預備トシ軍司令官ニ直隸シ廿日未明ニ土城子南
方高地ニ位置ス

凡予ハ廿日午前六時ヨリ土城子南方高地ニ在リ

第一師團及混成旅團ノ別令

一第一師團及混成旅團ハ今夜攻敵廠ノ重砲ヲ陣地ニ移

スニ方リ之ヲ掩護スベシ

右訓令ニ基キ左ノ處置ヲ為セリ

一李家屯北方高地ノ北麓ヲ以テ待機陣地ト定メ此ニ徒
歩砲兵聯隊及工兵中隊ヲ集合セシム

二 徒歩砲兵聯隊ハ戦闘間射撃指揮上ヨリ從來、建制ヲ
 解_キヨリ砲中隊ヲ以テ第一砲隊群トシ豊島少佐ヲシテ之ヲ指
 揮_{セシメ}ノ如農中隊ヲ以テ第二砲隊群トシ後所少佐ヲシテ之ヲ
 指揮_{セシメ}ノ夜ニ乘_リ陣地ヲ占領スルヲ命_ズス
 三 突射ノ準備ヲ終ルマデ第一師團及混成十二旅團ニ相当ノ掩
 護兵ヲ出ス_ルヲ照會ス
 四 後備工兵中隊ヲ今ヲ兩砲隊群長ニ属シ砲台、建築及砲
 床ノ敷設ニ助力セシム
 五 砲隊群陣地ヲ占_ムニ至_ラバ待機陣地ヲ彈藥、補給所ト
 シ砲廠縱列一部ヲ此處ニ移サシム
 六 工廠縱列ノ材料中砲台建築ニ必要ノ品目ヲ送_リガ_レシ_メ之ヲ

七、攻擊目標：茅草山、柿子山、他、中隊、松樹山、大目標、要換、隨時、之、ヲ、示、ス、ハ、シ
是、ヨリ、先、ヲ、掘、樹、屯、出、發、后、ハ、途、中、行、進、困、難、ナル、ヨリ、各、中、隊

ハ各同行進ヲ為セリ故ニ待機陣地ニ来ルモ各遲延アリシガ午後六時ヨリ九時ノ間ニ於テ第一中隊ヲ除ク外悉ク集合セリ銃ヲ其器材料ニ調査及整頓ヲ行ハシム

掩護兵ノ派遣ハ頗ル至急ヲ要ス故特ニ朕隊副官大隊副官
ヲシテ第一師團及混成旅團ニ照會セシメ混成旅團ニ於テハ委
曲安田大隊長ニ此任務ヲ賦ヘタリ今竊ニ就テ打合スニト田舎ヲ爲
セリ時ニ安田大隊長ハ土城子南方高地ニ在リ直ニ打合ヲ爲セシメ未ダ
旅團ヨリ何等ノ命令ニ接セガルニテ請求ニ應ジ難シト然ルニ掩護
兵ヲ得ザバ陣地占領ニ着テスル能ハズ然ラハ固ビ旅團ニ照會

センカ徒ニ時間ヲ失スル恐アリ躊躇スヘキ時機ニアラサレバ更ニ窪田
大隊長ニ告ルニ掩護兵ニ必要ノ理由ヲ以ラス彼是交渉ノ未遂
ニ二小隊ヲ失スルニ決セリ第一師團ヨリ派遣スル一中隊モ亦々遅レテ
着ス時ニ廿一日零時三十分頃ナリ之カ爲メ大ニ時間ヲ遷延シ速
ニ陣地ヲ占領スル能ハカリキ

掩護兵、到着スルト同時ニ豫テ陣地、偵察ヲ命じタル將校ヲレテ
各砲隊群、誘導すニ任セシ陣地占領、先後ニ於テ各部隊長、
為セシ動作、左ノ如シ

第一砲隊群

明治廿七年十月廿日午後八時四十分、李家屯北ノ集合地ニ於
テ聯隊長ヨリ射撃指揮及後方ニ関スル詳細ノ訓令ヲ受ク

午後九時敵軍、動静及其外部警戒、消息未タ詳ナラスト
僅モ已ニ敵ニ接近セルヲ以テ喧擾ヲ避ケル為メ銃ヲ輒馬ヲ解オ
之ヲ土城子ニ送り諸材料ハ砲卒輜卒及人夫ヲ以テ陣地ニ運搬ス
ルヲ命ジ其準備ニ着手セシム

廿日午前零時三十分步兵第三聯隊一中隊第十四聯隊二隊
ヲ擁護兵トシテ集合地ヲ發シ我歩哨線ヲ距ル約一千五百米ニ至リ
所要地点ニ警戒戒哨兵ヲ配布シ陣地ノ偵察ヲ行ヘリ

抑モ敵軍ノ位置直タルヲ標高甚タ高ク四面瞰制ノ好陣地ヲ占ムルヲ以テ
我陣地ノ偵察ニハ頗ル苦心セリ特ニ月光漸ク照ラスヲ以テ彼レカ指目
ヲ度クル恐レアリ只沈靜ヲ專ラトシ廿日午前二時半我砲兵陣地ヲ
決定セリ

決定陣地ハ集合地ヲ距ル約千五百米ニシテ路傍ノ高地ナリ茲ニ
三中队ヲ並列セシメ地質ハ岩石雜リニシテ砲兵陣地ニ適當セザルト
モ他ニ之ニ代フコト陣地ナシ又陣地アリトモ時間足ラザルト材料重
量著大ナルカ爲メ其運搬ノ難否ヲ顧慮セザル可ラザレバナリ

掩護步兵隊ニ引テ後備工兵中隊次ニ各中隊砲兵中隊ヲ
シテ砲床板ヲ携ヘ隨行セシメタリ此ニ於テ陣地ノ確定終ルヤ直ニ工兵
隊ヲシテ砲床地盤ヲ平鍬金セシメ砲兵中隊砲床板ヲ布置シ看
手セシム時三年前三時ナリ又砲兵及輸卒ノ一部ヲシテ砲車及屬
品ヲ散列ノ附近ハ運搬セシメタリ午前四時砲床平鍬完成セルヲ以テ
一部ヲシテ砲車組立ニ從事セシメ他部ヲシテ完成ノ砲床築設ヲ急ニカ
シム午前六時ナリ第六中隊ハ全ク工事及砲車ノ配列ヲ了リ因テ中

隊長ニ命スルニ隊長ヲ示せん合図ヲ辨テ直ニ椅子山砲位ニ向テ放火スルヲ以ラセリ

午前六時三十分ノ第師團野戦砲兵連然一聲椅子山ニ向テ放火ヲ開ケリ第砲隊群モ亦奈財ヲ令ニ應シ第砲隊直ニ椅子山ニ向テ放火ヲ命公既ニテヲ殺財彈内近著多キヲ認ムルニ砲兵砲程ヲ延テシテ延伸セシ能ハシテ七時十分ノ松樹山砲位ニ目標ヲ著候スルニ金セリ七時第師團歩兵漸ク椅子山ノ麓ニ肉薄スルヲ加シ松樹山砲位ニ向テ殺財彈又多ク近著シテ切實シテ誤ラ緩射砲位ヲ放火ノ中止ヲ命セリ七時歩兵進ラ松樹山ノ西麓ニ第砲隊ノ前七時十分第砲隊陣地終リ依テ直ニ松樹山砲位ニ向テ殺火ヲ命セリ然レ殺傷砲ノ閉鎖極其室ニ固著シテ脱出スルヲ能ハズ依テ殺火ヲ中止シ他砲隊ヲ促シ七時十分再ニ砲火ヲ開ク又殺傷砲ノ閉鎖極其室ニ固著シテ開クヲ能ハズ十分射撃止ムノ時退成旅團歩兵ノ松樹山砲位ニ突撃スルモノ加シ

0448

第二砲隊群

廿日午後第三時第三大隊本部、双台溝に在り、雙台溝は少佐陣地偵察ヲ
終ラ歸還スルニ會シ、聯隊長より命令ヲ得タリ曰ク、軍ハ明日午前六時攻
撃ヲ開始ス各中隊之ニ各其ノ目的ヲ以テ出来得ル限リ進ミ前進シ
李子家屯北方ノ高地ニ集ルト

依テ此命令ヲ村上今井兩大尉ニ傳ヘ、大隊長ニ副官及傳騎一名ヲ隨ヒ進テ
李子家屯北方ノ高地ニ赴キ、午後五時同地ニ達セシ、第三中隊ハ既に到着シテ
直ニ管砲兵大尉ノ誘導ニ依リ、我陣地ヲ見ルニ、彼我ノ距離三四千米
突ニシテ敵ノ堡塁砲台ニ悉ク、數百米突ノ山頂ニ在リ、我陣地ニ僅カ數十
米突ノ岡阜上ニシテ、ノ遮蔽物ナリ、全ク敵眼ニ曝露シ、甚ク不利ノ位置
ナリト、軍モ他ニ代フルニ陣地ナキカ如シ

午後九時土城子ニ於テ聯隊長ヲ發射ノ指揮及射撃ヲ示シ詳細ノ訓令ヲ受ケ

午後十時集合地ニ到リ第三第四中隊長(第五中隊長未ダ到着シテ左)ニ演令ヲ進フ

一 陣地進入ニ方テハ喧擾ヲ避ル為メ大砲ヲ除キ他ノ諸材料ヲ悉ク辟月カノミヲ以テ陣地ニ運搬ス可シ

二 換馬ハ本夜土城子ニ歸リ露置シ明朝五時ニ此地ニ集合シテ可シ
三 砲ヲ十銃及ビ彈藥三十発ヲ携リ、他ノ裝具ハ一切集合地ニ残置ス可シ

四 集合地ニ在リテ間火砲ヲ掃除シ且テ閉鎖機ヲ結合ス可シ

五 陣地ノ偵察ハ各中隊長及中隊附士官一名宛隨行ス可シ

六時間ニ餘裕ありテ砲兵構築セズ惟砲床ノミテ敷設ス可シ砲床ノ敷設モ定規ノ如クモ能ス惟土地ヲ均ラシ床板ヲ敷列スルヲ以テ足り

トスベシ

セ砲床ノ敷設ニ后備五中隊ヲテ之ニ助力セシム

ハ第二師團及混成旅團ヨリ護衛兵ヲ出シテ我作基ヲ掩護ス

掩護兵ノ来着ヲ待ツル敷時間ニシテ廿日午前一時半ヲ以テ陣地ノ偵察ニ仕ルル由ニ自ラ佐及管大尉ノ誘道ニ依リ加典長砲隊群陣地ニ至リ向テ千砲兵(松樹山)ノ指示ヲ受ケ午前三時廿分ノ詳細ノ偵察ヲ終リ直ニ砲床ノ敷設及材料ノ運搬ニ着手セシム

中隊間ニ約十五分ノ間隔ヲ存シ各砲ノ間隔ハ約六分ヲ突トナス

午前三時第四中隊僅ニ二門ノ組ヲ終ルルヨリ時四十分ニ至リ

0452

四門、組多終、此時第二中隊、既に放火ヲ始ムルカ故、第四中隊長ニ
命シ、整備セシ四門ノ砲車ヲ以テ松樹山砲臺ニ向テ放火ヲ開始セシ、他ニ内
ハ銃ヲ組ミ、從事セシム敵ノ砲臺（松樹山及ニ龍山）モ直ニ應戦シ、勢頗ル
猛烈ナリシニ龍山砲臺ノ備砲ハ能救約四門ニシテ口至少モ十二冊米
ヲ有シ、射撃大抵破裂セリナリ、恐ルヘキ威力ヲ有セリト、虽モ榴霰彈
ヲ射撃スルニ稀ナリト射撃ヲ修正不良ナリト爲ソ多ク、立止ミ突
ノ遠着弾ニ依リ、更ニ損害ヲ被ラス、惟一彈ノ第四中隊ノ右翼前
ノ突撃許ノ處ニ到達セルヲアリ、松樹山砲臺ノ備砲中、我ニ對セルモノハ二三
門ニシテ二種類ナリ、其一種砲ノ威力前者ニ劣ラスト、然モ他ノ一種砲
ノ威力微弱、旧砲ニカ如シ、此二種砲ノ彈着前者ニ遠ク、后者
ハ常ニ近クシテ、少シモ損害ヲ被ラリト

午前七時三十分より第二中隊一門組迄終止松樹山砲台向
ヲ放火ヲ開始シ第二中隊ヲ被射セシメ松樹山砲台離脱
火ヲ止メ他三門組迄急キテ

第一中隊此時未ダ陣地ニ到着セザリ以テ自然第二隊長指揮
下ヲ脱セリ

第四中隊銃ヲ被射セシメ午前八時三十分彼砲煙天ヲ蔽ヒ目標
見レ能ハズ以テ彼砲臺一時放火ヲ中止セリ

同九時砲煙散シ目標顯然ク依リ再ヒ松樹山砲台向テ放火
ヲ開始シ敵モ亦應放シ頻ルニ多枚ノ彈丸ヲ被射セリ然レモ其結果

ニ由テラス

午前九時廿分第四中隊砲一門閉鎖機離脱ス

午前九時四十分、聯隊長、依り第四中隊ヲ目標ヲ變換し二龍山ニ向テ砲撃ヲセム

同時、第三中隊モ残余三ノ組ヲ終り射撃準備を整頓セルヲ以テ二龍山ニ向テ放火ヲ開カシム

此二個中隊ガ二龍山ニ對せん砲撃ハ頗ル有効ナリシヲ認め、是ノ前後相次テ砲車故障ヲ生じ、即チ閉鎖機ヲ開ク能ハルニ至リ、十時半ハ砲撃ヲ中止スルヲ得サルニ至リ、蓋シ夜中義々戦闘間急連結合セト砲手此砲使用ノ慣熟セザルトニ原因スルモノナリ

午前十時半ハ混成旅團二龍山ニ向テ進撃ヲ始ム砲兵部長ハ屢々放火ヲ促サルト雖モ大砲故障止ミテ復射スル能ハズ、午前十一時半ハ步兵進テ砲台ニ突入シ之ヲ占領ス、茲ニ於テ我砲兵ノ戦闘

0455

全ク終ル

第一中隊材料、重量最著大なり爲行進ニ便シ他隊ヲ連ク
種々盡力カ加フルニ遂ニ前陣地ニ達ス能ハス漸ク廿日午前
ハ時李家屯坂上ニ到着セリ到底敵大下ニ在ラ隊群中
加入ルニ能ハサル以テ全所ニ於テ砲兵部長ノ命ヲ受ケ右傍ノ丘上
陣地ヲ據定シ直ニ砲床設置ス事ス

全士時手ノ二龍山砲台ニ向テ砲火ヲ用旅ス次ヲ我歩兵全砲台ニ接近
シ射撃危險ノ恐シムヲ以テ目標ヲ左方砲台ニ交換ス然ルニ此
砲台モ亦同一戦況ナラ以テ更ニ目標ヲ他ニ據定ス際戦闘既ニ
局ヲ結ブモノ如シ仍テ射撃ヲ止ム此時他ノ二門ハ未ダ到達スル
未ダ

右備工兵中隊

廿日午後七時中隊ハ命令ニ依リ示命地点ニ到着露露セリ

廿日午前零時甲介ハ中隊ヲ二介シ右羊隊ハ西尾少尉之ヲ率ヒ税
所砲兵少佐指揮ニ屬シ左羊隊ハ久本少尉之ヲ率ヒ豊島砲兵少
佐ノ指揮ニ屬セシム

全二時甲介ハ右羊隊共水師營北方砲兵陣地ニ至リ直ニ工事ニ従事
セリ右羊隊ハ加農砲拾門ノ砲座並ニ肩牆及ビ長約百五十米ノ
通路ヲ構築セリ

左羊隊ハ臼砲拾四門ノ砲座及長約百米ノ通路ヲ構築セリ

右兩所共岩石質ニシテ工事頗ル困難ナリシ

午前六時十分工事ヲ終ル是ヲ先ヲ工兵ハ砲兵ニカヲ假セ砲ノ配備

0457

ヲナレ此時略完成シタルヲ以テ中隊ヲ道路路上ニ集合スルヤ重然敵ニ先ケ
吾加農砲大ヲ開始スルヲ見タリ

全六時四十分露營地ニ至ル

全九時土城子南方高地ニ加農砲四門砲座ヲ構築シ全九時四十分
分ニ終ル

爾后終日露營地ニ至ラ命ヲ待タタリ

砲廠縦列

今日午前六時三十分開始砲臺同時土城子ヲ發シ本縦列預定位
置ニ至ル其位置ハ徒歩砲兵隊中隊砲台后方約三百米ニシテ土城
子ヲ旅順口ニ至ル街道ノ左側ヲ彈藥ハ吉武鈴木ノ両中尉ヲシテ
運搬ノ監督ヲ為サシ午前十一時到着ス(斯ク彈藥ヲ到達延期スル

本縦列全人員ヲ砲車運搬ノ用ニ充テシヲ以テナリ

午前十時後歩砲兵隊一中隊(主砲農)ノ携行砲薬ノ到着甚ダ遅延シ財撃ニ差支ヘタルヲ以テ軍砲兵部長黒瀬大佐ヲ為シ得ル限ヲ改テ尽シ中隊ニ恨カシ連ニ砲薬ヲ搬送スキヲ命ゼシ依テ本縦列附曹長清宮義三郎ヲシテ人夫若干ヲ率ヒテ馳歩士城子ノ方ニ趣カシ砲薬ヲ運搬セシ十時三十分砲台ニ到着中隊ニ渡シ漸ク放火ヲ開クヲ得ナリ

午前十時三十分松久曹長ヲ十時三十分河島枝年ヲシテ隊三隊五中隊砲台ニ就テ砲薬ヲ補給ナリ

午前十一時三十分收戦午後四時刃台溝ノ砲薬ヲ前記ニ地ニ集メ撃害戒兵ヲ附シ他士城子ニ引テ揚ケ午後五時三十分会合ニ至ナリ

工廠縦列

0459

廿廿日午後双台溝ニ向テ行進中双台溝ノ東方約三々米突ノ所ニ於テ
縱列材料ヲ双台溝ニ留テ土工器具材料中必要品ヲ陣地ニ運搬スル
及ビ重砲運搬ニ助力スルノ任ヲ受ケ人員及ビ器具ヲ生シテ左ノ如シ
全廿日午後六時迄双台溝ヲ抜テ一人夫三十名ヲ以テ土庫裏三々
枚十字銃身挺四匙百挺ヲ齊四挺ヲ第一大隊陣地ニ運搬シタリ
到着セシハ廿日午前零時三々ナリ
全廿日午前零時三々ナリ重砲運搬助力ヲ爲テ監護一人夫
五十名ヲ出シ該重砲ヲ陣地ニ全ク運搬セリ

以上各部隊ノ動作ヲ戰術間末^{本官}終始兩砲隊群ノ間ニ在リ午
前十一時三十分我歩兵隊ノ二龍山ニ向テ突撃スルヤ危峻ノ

0460

悲レアルヲ以テ射撃ヲ行フヲ克ム他、目標ヲ変換セント欲
スルニ當リ彼ノ砲火モ漸次沈黙、歸シ守備ヲ棄テ敗走スルモ
如シ是、於テ射撃ヲ中止セシメ依然其陣地ニ在テ尚ホ敵ノ
動靜ヲ觀察セシメ戰鬪殆ント爲ラレタリ北アリ其ハ軍司令
官、訓令アリ其要旨尤ノ如シ

敵ノ一部ハ北方ニ敗走セリ第一所團及ニ混成旅團ハ必要ノ
警戒ヲ爲セリ攻城敵ハ今夜陣地ノ附近ニ宿營スベシ

是、於テ各中隊ラシテ固有大隊、復歸セシメ守備ヲ徹シ徒歩砲
兵聯隊ハ水所管其他ハ土城子附近ニ宿營セシム

此戰鬪ニ於テ彼我陣地ノ利害ヲ比較スルハ彼ニ利アリ我ニ不
利アリ其ノ不利ノ点ヲ要するハ蓋シたノ數項ナリ

茅一 敵ノ砲台ヨリ能ク瞰視セラル

茅二 太陽ニ面スルニ照準極メテ困難ナリ

茅三 我陣地ニ岩石散リ石片飛散ノ患アリ

茅四 彼ノ陣地ニ至リ豫メ各地ニ至ルニ巨砲ヲ用ル

ヲ得ヘシ

此不利ノ至アルニ係ラズ敵火ノ力ノ大傷ヲ生セサレシニ全ク彼ノ射法ノ不良ナリシト極力散厚ヲ用ヒカニ在リ

右報告ス。外附録ニ枚添

明治廿七年十一月

臨時攻城隊長 和田申善

0462

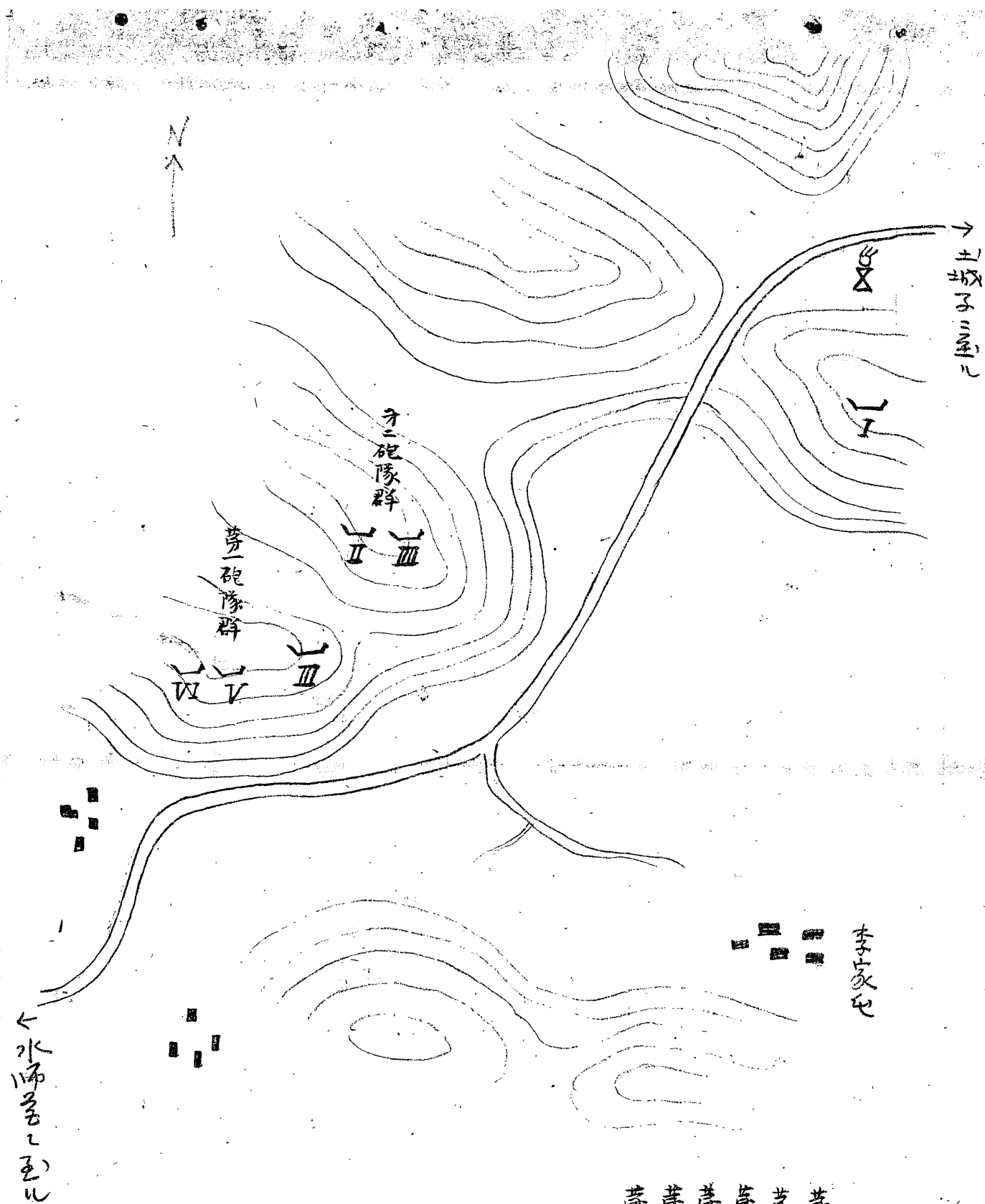
臨時攻城戰闘詳報第一号附録

種 類	隊 区 介	第 一 中 隊					第 二 中 隊	第 三 中 隊	第 四 中 隊	第 五 中 隊	第 六 中 隊
		榴 弾	銃 弾	銃 弾	銃 弾	銃 弾					
消費セリ弾数		一	三	九	三	八	二	二	二	二	二
損失セリ兵器及彈藥数		三	一	五	二	二	二	二	二	二	二
其他兵器											

0464

備考
第一隊 二冊 禾加農 第三隊 四冊 禾加農 第三隊 五冊 禾加農
五冊 禾加農 第六隊 九冊 禾加農 トス

0465



第一中隊 二門 (十二彈米加)
 第二中隊 四門 (九彈米加)
 第三中隊 四門 (五彈米加)
 第四中隊 六門 (九彈米加)
 第五中隊 四門 (五彈米加)
 第六中隊 六門 (九彈米加)

0466